

Symphony
Sometimes gorgeous, sometimes solemn, Ome's festivals exhilarate and thrill all visitors. Everyone feels uplifted and moved by this unfamiliar aspect of Ome. The many unique festivals in Ome are an asset, and a source of strength, for all who live in the city.

祭

【Festival】

【**だるま市**】長い歴史をもつ青梅のだるま市は青梅の冬の風物詩です。200を優に超える露店が軒を連ね、縁起物のだるまを求める多くの人で賑わいます。【**梅まつり**】紅白合わせて25,000本もの梅が花をつける吉野梅郷は関東一の梅の里です。期間中は、全国から30万人以上の人たちが訪れます。【**調布大祭**】市内旧調布地区の祭礼です。各町での渡行・巡行を終えた神輿と山車が下奥多摩橋に集結し、互いに入り乱れて競い合う様子は迫力満点です。【**つつじまつり**】塩船観音寺では、毎年4月中旬から5月中旬にかけてつつじ祭りが行われます。赤、白、薄紫など約20,000本のつつじが咲き誇り、境内を甘い香りで包みます。【**吹上花しょうぶまつり**】貴重な谷戸地(やとち)の保全を目的につくられた吹上しょうぶ公園で6月に開催されます。約2.1haの園内に約10万本のハナショウブが咲き乱れます。【**花火大会**】大会の目玉は直径約400メートルの花を咲かせる尺5寸玉。会場の永山公園は火の粉が振りかかるほどの大迫力に包まれます。永山大照明と呼ばれる光の演出も幻想的です。



梅まつり



調布大祭

魅せる、華やぐ美の祭り。
魂を揺さぶる伝統の祭り。



だるま市



つつじまつり



協奏

共に歩み、共に創り、共に暮らす。

【**青梅大祭**】熱気溢れる青梅市で最大規模の祭りです。参加12町の山車と威勢のいい囃子、街を埋め尽くす皆さんの露店。山車の競り合いは一見の価値があります。

時に華やかに、時に荘厳に、訪れたすべての人の気持ちをはずませ、心を躍らせる祭り。いつもと違う表情の青梅にだれもが高揚し、感動に包まれます。個性豊かな祭りの数々は、青梅に生きるすべての人にとって財産であり、力の源です。

●インタビュー
青梅市観光協会会長
野崎正巳さん

青梅市の豊かな
観光資源を
今以上に生かして
いきたいですね。



当協会は昭和33年に結成され、現在の会員数は130人ほどです。市の観光事業振興と文化産業の向上を使命として活動しています。発足以来、市と連携し種々の観光客誘致、宣伝事業を実施してまいりました。平成22年で62回を迎えた青梅市納涼花火大会や、56回を迎えます御岳山の「カンタンを聞く会」などは永きにわたり多くの人を集めつけています。また梅まつりは、協会発足当時から吉野梅郷観光協会や市と連携して盛大に実施しており、毎年30万人の観梅客を迎えています。青梅市は観光資源が豊かで、市民に人情、情熱、団結力があります。それらを今以上に生かしていくため、当協会からも新しいアイデアや提案を出し、マンパワーの發揮に努めていきたいと考えています。

花火大会



吹上花しょうぶまつり

Beautiful Scenery

If you live in Ome, you can keenly sense the changing beauty of flowers and trees through the four seasons. It is a city of relaxation, a city of elegance, a city of sparkle. The more you walk around and settle down here, the more you will appreciate the joy of living in Ome.

景

【View】

【釜の淵公園桜】4月初めのうららかな頃、多摩川に架かる柳淵橋から鮎美橋にかけて、桜の花が岸辺を薄桃色に包みます。その桜の樹の下で子どもたちが賑やかにしゃがみ、大人たちは憩いのひとときを過ごします。【花木園】園内では四季折々の花のほか、果樹の展示見本園や体験実習農園、芝生の広場、全長211メートルのローラーすべり台もあり、子どもから大人まで楽しめます。【岩蔵温泉】静かな山間にある岩蔵温泉郷は、ヤマトタケルの神話が伝わる湯の里です。そのなめらかな湯は美肌をつくるといわれます。ハイキングや散策の後、気軽に立ち寄れます。【関東の富士見百景】市内の今上天皇塚水田から見える富士山の景色が平成16年11月に、国土交通省関東地方整備局から「関東の富士見百景」に選ばれました。【御岳紅葉】11月上旬には御岳山が、中下旬には御岳渓谷が紅葉シーズン。見上げれば御岳山が艶やかな紅の衣でお出迎え、見下ろせば川べりは錦の絨毯に彩られます。【青梅市梅の公園】シーズンには120品種1,500本の梅が咲きこぼれる風光明媚な自然公園です。吉野梅郷の中心的な観梅スポットで、見頃には多くの人で賑わいます。



関東の富士見百景



御岳紅葉



花木園



岩蔵温泉

心地好い風と光たち。
ここには四季があふれている。

「また訪れたい」
と思われるよう
心を込めてご案内
しています。

●インタビュー
梅の公園ガイドボランティア
越前和子さん

青梅市梅の公園は、約4・5ヘクタールの山の斜面に約1千500本の梅の木が植えられた自然公園です。土地に高低差があり、独特のアンゲルから紅白のグラデーションを楽しめます。2009年に日本経済新聞の全国梅の名所ランキングでは一位に選ばれました。

この公園の一つの特徴となっているのが、ボランティアのガイドです。予約は必要なく、園内でいつでも気軽に声を掛けていただいています。現在、梅の知識や安全の心得などについて市より指導を受けたガイドが36人います。ガイドのスタイルはひとりひとりの個性があり、そこがまた面白いところかもしれません。私の場合、梅の美しさを通して、青梅の豊かさ、自然の大切さ、人間の素晴らしさを伝えていきたいですね。

青梅市梅の公園

青梅に暮らしていると、その花木の美しさに四季の移ろいを実感することができます。憩いのあるまち。趣きのあるまち。華やきのあるまち。歩くほどに、身を置くほどに、青梅に生きること喜びを感じられるはずです。

多摩川下流域風景(釜の淵公園桜)

共に歩み、共に創り、共に暮らす。

Cheerful Voices
The cheerful voices of children at play can be heard. Ome is brimming with active interchange and new encounters. Mothers watch their children with carefree expressions. The city always places importance on creating comfortable space for children.

【自然体験学習】農業・食育体験教室、親子夏の星座観望会、昆虫教室など、四季を通じて青梅の豊かな自然に親しみながら学びます。【子育て支援センターはぐはぐ】小さな子どもたちが安心してのびのび遊べる遊戲室や絵本のある幼児室、オムツ替えのできる乳児室など、ママたちと子どもの温かい居場所を提供しています。【児童合唱団】昭和55年4月から市教育委員会が掌理し、平成22年には第33回定期演奏会を実施。【児童遊園】市では、子どもたちが健全に遊ぶことができ、健やかで情感豊かに育つことを目的として、遊具等を数多く設置しています。【ジュニアスポーツ教室】カヌー、水泳、テニス、卓球など、児童のスポーツ活動の活性化や健全育成のため、総合体育館や市民センター体育館などでスポーツ教室を開催しています。【子どもふれあいフェスタ】青梅市の子ども関連のNPO団体による実行委員会が中心となって毎年開催され、手作りおもちゃのコーナーや模擬店、歌や演奏、パフォーマンスなどで盛り上がります。



子育て支援センターはぐはぐ



児童合唱団

育

【Growth】

温かい場所がここにある。
つながる幸せがここにある。



児童遊園



ジュニアスポーツ教室

遊び、学び、出会い、
つながる。
ここには笑顔が
あふれています。

●インタビュー NPO法人 青梅子ども未来
代表理事／稲葉恭子さん
副代表理事／栗原久美子さん



1995年に、幼児サークル指導者や保健師など子育て支援をされている方々と作った「青梅子ども未来連絡会」が私たちの前身です。2002年にNPO法人の認証を得て、翌年に子ども未来館を開きました。現在のスタッフ数は42人で、半分は元専門職、半分は子育てを終えたお母さんたちです。

応援する「Vivokuraぶ」、日本グッドトイ協会との協同による「木育おもちゃの広場」、子どもたちの人権に重きを置いた暴力防止のワークショップ「CAP」等々、「この街で子育てできてよかったー」と思えるよう幅広い活動をしています。ここにあふれるたくさんの笑顔、それが私たちの原動力ですね。

子どもふれあいフェスタ



泥んこ運動会

郷音

共に歩み、共に創り、共に暮らす。

子どもたちが明るく元気に遊ぶ声が聞こえてきます。豊かな交流や新しい出会いにあふれています。ママたちが安心した表情で子どもたちを見つめています。いつの時代も、青梅では子どもたちの居場所づくりを大切に考えています。



自然体験学習

Symbiosis
Many citizens take part as volunteers in beautification and environmental preservation activities in order to continue protecting the cherished beauty of Ome's hills and rivers. Furthermore, the city works together to promote the reduction and recycling of garbage.

守

【Conservation】

【多摩川1万人の清掃大会】多くのの人に親しまれている多摩川をいつでもきれいに、いつまでもきれいに。同じ願いを胸に、大勢の市民が環境美化活動に参加しています。

【森林保全活動】豊かで深い森林は青梅の財産。さまざまなボランティア団体が、森林環境の保全などを目的に、適切な間伐・植栽などを行っています。また、森林ボランティアの育成も行い、市民参加型の森林づくりを推進しています。【青梅の森】里山の貴重な自然を守り、引き継いでいくため、JR青梅駅に近接する丘陵地約91ヘクタールは「青梅の森」特別緑地保全地区に指定されています。【川遊び体験学習】子どもたちが自然と環境の大切さを体感できる機会を提供するため、親水イベントとして「稚鮎の放流と川の生態系調査」、「いかだで遊ぼうin霞川」などを実施しています。【資源循環活動】青梅市では、燃やさないごみや粗大ごみの再生利用とごみ減量に力を入れています。昭和59年より稼働しているリサイクルセンターは見学も可能です。



青梅の森



川遊び体験学習

美しいものを、美しいままに。
そのために私たちができること。



森林ボランティア育成事業
森林保全活動



リサイクルセンター



リサイクルショップ

資源循環活動

当グループでは、育林や造林による森林の保育、森林保全に関する調査研究、そして広く一般の人を対象に普及啓蒙活動を行っています。

世の中全体において環境保護への意識が高まり、また林業の採算性が悪化したことにより、逆に管理の行き届かない放置された山林が増えています。木を伐採しないことが森林を豊かにすること、これは誤った考え

放置された森を
救うため、
正しい知識を広めて
いきたい。

●インタビュー
NPO法人 青梅林業研究グループ
理事長／中島邦彦さん



です。適正な間伐をしなければ、採光の悪い暗い森と化してしまい、安らぎも潤いも癒しも得ることができなくなってしまう。

ボランティアの力だけでは森を守ることはできません。危機に瀕した森林の公益的機能を、正しい知識を広めていくことで救済するのが私たちの使命だと考えています。

親しまれている里山や川の美しさを守りつづけていくために、多くの方がボランティアで美化活動や環境保全活動に参加されています。また、ごみの減量やリサイクルの促進もまちぐるみで取り組んでいます。

共生

共に歩み、共に創り、共に暮らす。



多摩川1万人の清掃大会

Artistic Brilliance
Ome is known for its connections with many great writers and artists. Surrounded by beautiful scenery, the area offers an ideal environment for creativity. Visit the local art galleries and museums and see this other face of the city.

【市立美術館】明治時代から現代までの進歩的日本人画や昭和洋画をリードした独立美術協会系作家の作品、昭和戦後期の版画などを中心に収集、展示しています。【玉堂美術館】日本画壇の巨匠・川合玉堂が、昭和19年から亡くなる同32年まで御岳で過ごしたことを記念し、同36年に開館。15歳頃の写生から84歳の絶筆まで展示されています。【櫛かんざし美術館】主に江戸から昭和の櫛とかんざしを、季節に合わせて常時約400点展示しています。展望ホールからは、四季折々の多摩川の眺めを満喫できます。【吉川英治記念館】青梅市名誉市民である文豪・吉川英治の原稿、著作、書画、書簡など約300点を展示。書斎もそのままの状態で残されています。【きもの博物館】日本の伝統文化でもあり、美の象徴と言える着物を展示した博物館です。とても貴重な大名や皇室の衣裳などが保存されています。【御岳美術館】四季の彩りに包まれた多摩川上流の御岳渓谷遊歩道に面した美術館。荻原守衛、高村光太郎、ロダンをはじめ、近代日本を代表する作家の作品に出会えます。【郷土博物館】釜の淵公園内に建てられた市立博物館で、市内に点在していた貴重な文化財や資料がここに集められています。重要文化財の旧宮崎家住宅も見学できます。



櫛かんざし美術館



吉川英治記念館（書斎風景）



郷土博物館



旧宮崎家住宅

美

【Arts】

美しき郷に薫る文化。
青梅にて芸術に出会う。



きもの博物館



御岳美術館



市立美術館

共に歩み、共に創り、共に暮らす。

精 彩

青梅は、文豪や芸術家ゆかりの地としても知られています。美景に包まれたこの地は、創作にとって理想的な環境であったといえます。美術館や博物館で、もうひとつの青梅の表情に触れてみてください。

●インタビュー

市立美術館 美術担当主幹／石田治郎さん

遥か未来に
思いを馳せ、
青梅の芸術を守って
いきます。



青梅市は美しい水と緑にあふれた歴史ある街で、多くの芸術家がこの地で創作に励みました。当館にも、市ゆかりの洋画家・小島善太郎や工芸家・藤本能道の作品をはじめ、近代以降の日本画、洋画、版画など約2千200点の作品が収蔵されています。芸術から得たものを地域に還元していく、それは市内唯一の公立美術館としての役割の一つです。たと

えば、展示物に合わせた実技講座や夏休みの小中学生向け講座など、一年を通して意欲的に催事を実施しています。

次世代へ向けてのメッセージとして、美術館も未来へ文化を伝承していく姿勢が大切だと私は考えます。当館の収蔵作品を千年先まで残せれば、それは計り知れない貴重な財産になるでしょうね。



玉堂美術館

Full Speed

Runners race along Ome Highway, which is famous for its radiant plum blossoms. The Ome Marathon is a major event on the calendar that everyone knows about. The mountain marathon utilizing the city's natural terrain is popular as well and attracts many participants every year.

【青梅マラソン】オリンピックや箱根駅伝で活躍するトップアスリートをはじめ、全国から多数の参加者が集まる大規模なマラソンレース。1967年に市民マラソンの先駆けとして始まり、今では青梅を代表する催事に発展しています。

【奥多摩溪谷駅伝】毎年12月初旬に開催される駅伝大会です。箱根駅伝に次ぐ70回を超える歴史をもち、青梅市民たちの熱い思いが注がれています。高校生、大学生、一般、女子と幅広く参加できます。【みたけ山山岳マラソン】毎年12月に厳しい寒さの中、自然そのままの山道、急な勾配の御岳山を舞台に開催されるマラソン大会です。昨今のトレイルランニング人気もあり、多くの参加者が集まります。【青梅高水山トレイルラン】山桜の咲く季節に、青梅高水山の山道を舞台に開催されるトレイルランレース。目の前に広がるのどかな山村風景、体中に自然を感じながら走るこのレースは、自然志向の高まりとともに人気も上昇しています。【東京ヒルクライムNARIKI】ロードバイクに乗り、成木市民センターから常盤林道まで、高低差575m、距離10kmを走り抜けるレースです。地元の方たちもボランティアで運営に協力し大会を盛り上げています。



みたけ山山岳マラソン



東京ヒルクライムNARIKI



奥多摩溪谷駅伝



青梅高水山トレイルラン

走るほどに充たされていく。
ランナーたちが愛する青梅。



青梅マラソン

疾走

共に歩み、共に創り、共に暮らす。



給水所



明白院前

●インタビュー

青梅マラソン参加者／山崎眞一さん

沿道の大声援を受けて走る
青梅マラソンは特別な大会です。



青梅マラソンは、私にとって特別な大会です。ポストンマラソンで優勝された山田敬三さんが走る雄姿を子どもの頃に沿道で見て、自分もいつかは走ってみたいという憧れを抱いていました。

いるのは、念願かなって初めて出場した高校一年の時の第10回大会です。外国人招待選手のビル・ロジャースを間近で見れた興奮を今も覚えていますが、それと、現役の瀬古選手と一緒に走れた大会も良い思い出になっていますね。スタートの時、目の前が瀬古選手で思わず感動しました。今でも、私にとって青梅マラソンは最も走りたい特別な大会です。

梅の花ほころぶ青梅路を、風を切りながら駆けていくランナーたち。青梅マラソンと言えば、だれもが知る青梅を代表する一大イベントです。また、青梅ではその自然の地形を生かした山岳マラソンも盛んで、毎年多くの参加者が集まります。

スタート

